



AGUNI VILLAGE



発刊に寄せて



粟国村は、那覇市の北西約60kmの海上に浮かぶ面積7.65k ㎡の粟国島から成る1島1村の村です。

人口は、令和3年1月1日現在689人となっています。

古くは栗の産地として村名にその名残を残しています。現在は 基幹作物のサトウキビを年間約2千トン前後生産し、畜産分野で は肉用牛約300頭、ヤギ100頭ほど飼育する第一次産業が中心 の村です。

島の南側の海岸線沿いには火山層の壮大な地形が広がり、海中ではギンガメアジが織り成すトルネードなど県内では他に類を見ない光景が展開しています。このような自然の豊かさに加えてソテツ、フクギといった沖縄の原風景と伝統が今もなお息づいているせいでしょうか、1999年公開の映画「ナビィの恋」、同じく2019年公開の映画「洗骨」では、ロケ地として名を馳せました。同じく島の「光」と「風」に魅入られ創業された小渡幸信さんの「粟國の塩」は、今も黒糖、かりんとう、ようかん、ソテツ味噌などと並ぶ島の特産品になっています。

今後も島の恵まれた自然を生かした産業で島おこしをする所存です。

本冊子が、粟国村の今を理解していただける資料となり、島を 訪れた皆様が私たちも気づかない魅力を発見していただけたら この上ない喜びであります。御来島いただき心より感謝申し上げ ます。

令和3年3月



CONTENTS

特集I

- 4 むんじゅる節の里を歩く
- 6 海と島と太陽と豊かな自然
- 8 伝統の技と文化
- 10 粟国村の民話

特集Ⅱ

- 12 わたしたちの島(むんじゅるインタビュー)
- 14 MADE IN AGUNI 島の特産品
- 16 粟国村イラストマップ
- 18 粟国コラム

6つのむらづくり

- 20 島しょ基盤づくり
- 22 産業振興
- 24 生活環境
- 26 教育文化
- 28 健康福祉
- 30 住民参加·行財政運営
- 33 資料編













受け継いだ伝統を守り、 素朴ながらも喜びに満ちた島の暮らし。 島に降り注ぐ太陽の光は、 豊かな自然と、私たちの喜びを育んでいます。

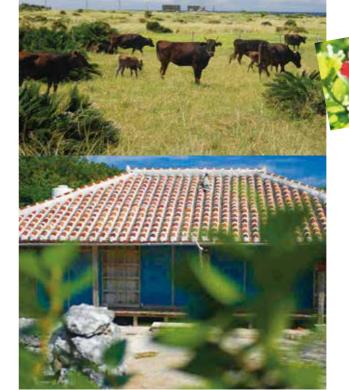


りませんじゅる節の 里を歩く









粟国島の集落は、古い赤瓦の家やサンゴ石の石垣が残る素朴な集落。沖縄本 島周辺の島では、一番残っているのではないだろうか。

国島の集落は標高の高い南西部のマハナか ら北東部のウーグの浜へ向かって緩やかに 下る傾斜地に広がっています。その前面に

は豊かな海があり、その海もまた無限のかなたへ続いてい きます。周囲12kmという小さい島にもかかわらず解放感 を覚えるのは、海へと誘う集落のつくりにあります。

島の中央に位置する集落には、昔ながらの風景が残って います。サンゴ石の石垣、フクギの防風林、漆喰で固めた 赤瓦屋根の民家など「沖縄の原風景」ともいえる景観は、 夏場に襲来する台風から家を守るための知恵が形になって



昔から水の乏しい粟国島では、西海岸にある凝灰岩(ぎょうか いがん)をくり抜いた大きな水がめ(トゥージ)に雨水をため、飲 料水にしていました。島の西海岸からくり船2隻で挟んで港ま で運び、船の帆柱を棒にして数人の大人たちが交替で運んだ といわれています。

生まれたものです。そこには島にあるものを利用して自然 災害から暮らしを守る工夫が凝らされています。

屋敷を囲むサンゴ石の石垣にしても、無造作に積まれた ものではありません。よく見ると石垣は外に対して角を丸 くし、内側は直角に積まれていることが分かります。これ は台風の強い風から家を守るという機能性に加え、内側の 空間を最大限に使いながら、外側に対しては柔らかな曲線 で集落の風景を穏やかにみせる視覚的な効果を生み出して います。外に優しく、内に強さを秘めた石垣の積み方は、 沖縄では処世の心得として「外やまんまるく、内に角たて て、ぐんじゅみ(※2)の如に、浮世わたら」という琉歌に も詠まれています。

粟国島の集落の風景は、長い年月を経て、人々の暮らし の営みの中で形づくられてきました。素朴な佇まいには優 しさと力強さ、そして歴史を経た誇りが感じられます。

※1「むんじゅる」とは麦ガラで作った日よけ笠のこと 沖縄のポピュラーな民謡の一つ「むんじゅる節」は、 粟国島が発祥の地といわれています。







大正池公園 島の西側にある森林公園です。 村民や観光客の散歩コースにはもってこいです!

太古ヘタイムスリップ

足の飢饉対策のために植えられたもので、 今では「ソテツの島」と称されるほど。また、 集落の周囲を囲むフクギ並木は防風林としての役割がある ことから、粟国島の緑豊かな景観は、先人達の知恵と工夫 が根づいたものと言えます。豊かな自然環境は様々な生態 系を育み、希少性の高い野鳥がほぼ年間を通して観察でき る他、繋牧した牛や山羊が草を食べるのどかな光景を楽し むことができます。

のあちらこちらで目にするソテツは、水不

自然に関するもう一つの見どころは、太古の火山活動の 状況を垣間みることのできる「西ヤマトゥガー」や、巨大 な岩が分け隔てられた神秘的な空間の「東ヤマトゥガー」 など、太古の昔から繰り返されて来た自然の姿にあります。 黒や灰色、赤、白と様々な種類の岩が層を連ね、同時に見 られる光景はまさに時間の積み重ねそのもの。粟国島は豊 かな生態系が息づく歴史ある島なのです。

粟国島を舞台に描いた映画「ナビィの 恋」では、粟国島の素朴な風景を垣間み ることができます。

字西の御願の植物群落

自然状態に近い森が残されています。

石灰岩の地層が断層の影響により崩れ、その崖地に発達した植物群落。

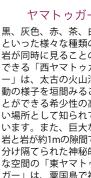


洞寺(テラ)

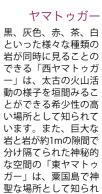
島の北海岸近くにある 鍾乳洞。今から約200 年前に問答に負けた僧 侶が住み着き、生涯を 閉じた場所と言い伝え られていることから、 洞寺(テラ)と呼ばれる ようになりました。



島の東側にあるこの海 岸は、サンゴがつくり 出した白く美しい砂浜 が1km近く続いています。 目の前に広がる青く透 き通った海は、海水浴 やシュノーケリングに 最適です。



ています。





With rich natural



マースヤー

大洋の中に豊かな くらしと文化を築く 粟国

ヤガン折目(ウユミ)、マースヤーに代表される粟国島独特の文化。 先人たちの心に触れるよろこびと誇りは、今も脈々と受け継がれています。









マースヤー

旧暦の大晦日の夕刻から歌や舞踊を披露しながら家々 を練り歩き、無病息災と豊穣を祈願する伝統行事。

初起こし(ウクシ)

旧暦の正月3日に、豊年満作、子孫繁栄、健康を祈願し、 三線と踊りで集落を回る行事。

ハーリー

豊漁や航海無事を祈願し、粟国港で行われる職場や地域で結成されたチール対抗の呼乾船競漕



ヤガン折目(ウユミ) 旧暦の6月24日から3日間 行われる島最大の祭祀。3 日目には一般も参加でき、 島の繁栄と人々の健康を 祈願する。



粟

いり受け

総が

伝

統

の

技と文化

国島は昔から信仰心 が厚く、祖先の霊を 祀る行事は欠かしま

せん。伝統行事や年中行事は、旧

暦にのっとり島の文化として受け継がれています。

村の一年はマースヤーで始まります。大晦日の夜から元 旦にかけて行われる伝統行事で、11ある各原組ごとに地 域内の各家々に塩(マース)を配りながら練り歩いて歌や踊 りで無病息災と豊穣を祈ります。

旧暦正月2日は船起こし(ウクシ)。船を持つ個人だけでなく、フェリーでも1年の航海安全を願って催されます。 旧暦正月3日の初起こし(ウクシ)の日に、各家庭では 庭へ蒔く白砂を取りに行く習慣があります。

旧暦5月4日のハーリーは水産業を振興し、航海及び操業安全と大漁を祈る行事です。

旧暦5月15日の島ウガンには、宮小の前に各原組が集まり、 供物をお供えして祝女とともに村民の健康を祈願します。

粟のご飯を作り、祖先に粟の豊作を願う「粟シチュマ」 の行事が行われるのは旧暦5月下旬の壬の日。翌日は牧童 の慰安日とされていました。

旧暦の6月24日、25日、26日の3日間を通して行われる「ヤガン折目(ウユミ)」は、島最大の祭祀です。

1日目は午後5時頃、各区長、各原組のヤトゥイ(雇)は祝女と共にエーガー拝所に集まり、山の神のお迎えをします。2日目は午後7時頃、東の両ヌル、西のスイミチジ、以下の神人、ニイブトゥイ神、ヤトゥイ(雇)、各区長が大中の火ぬ神の祠前に集まり、神の来臨の御礼と翌日の折目の案内と無事終了を祈願します。また、東と西の神々が同時に前に出て、同時に祈願して終わります。最終日は、午前10時頃、始めますという朝のウンヌキグト(お願い事を伝える申し開き)が始まります。年中行事の中で盛大な神事であり、村民をはじめ多くの観光客がイビガナシーに集まり健康や子宝の祈願をします。また、夜には奉納相撲が行われます。ヤガン折目(ウユミ)では、村指定文化財「松尾御嶽のイタジイの木」から、葉をカーブイ(冠)として利用します。

旧暦9月には、島の東海岸、照喜名原(通称ウーグ砂浜) にある拝所で、グーシーといわれる祈願が行われ、その昔、 首里から移住して来た祖先の恩徳・偉業をしのび、祖先へ の敬慕の念を示します。旧暦9月1日は字浜、同9月15日は 字西・東の人々が、門中ごとに沖縄本島を遥拝します。

旧暦10月1日の「カママーイ」は火災予防のために行われたのがはじまりですが、各家庭の伸びすぎた樹木の枝を 伐採できる日にもなっています。 参考資料/『粟国村誌』



野厳折目の由来

島の北の海岸近くの野厳と言うところに、アラバ御嶽があります。

昔、その野厳あたりには、恐ろしい神がいて、通りかかった人の鼻をつまんで抜いたり、

目を悪くしたり、また妊婦を流産させたりいろいろな災いをもたらしました。

特に災いがひどくなる6月20日ごろになると、そこには誰も行かなかったそうです。

これでは畑仕事も出来ないというので、島の騒動を今帰仁の北山王へ訴え出たところ、

北山王から、平敷大主という役人が派遣されて、この野厳を調べました。

平敷大主は北山に帰って王に「島の人にいろんな災いがかかっております」と報告すると、

王は平敷大主に鎮めるように命じました。

平敷大主は再び島へ渡ると持ってきたバーイ(塩漬けの干し魚)と米、栗、イカを野厳洞窟の前に置き、 みんなでやチジン(鼓)を鳴らして、アラバ御嶽の神をおびき出しました。

すると神は、野厳洞窟を出てガダヌコ御嶽へ移り、さらに字東の民家の前から、威部加那志まで来ると、 姿が見えなくなり、その後は暴れることもなくなりました。

アラバ御嶽の神を鎮めた平敷大主は、エーヌ殿の中に今帰仁御神として祀られたそうです。

今でも威部加那志には今帰仁城を拝む所があります。(諸説あり)

ガダヌコ御嶽/字西にある聖地。 威部加那志/字西の八重大中御嶽のこと エーヌ殿/威部加那志の宮小と呼ばれる拝所に祀られている。 その中から代表的な二つの民話を紹介します。 粟国村には数多くの民話が語り継がれています

海馬と御恩石の戦い

宇根武原の麓の道のすぐ傍に、御恩石という立派な石が立っています。

昔、海馬という怪物がこの島の人を喰おうと、西の海から上がって来きました。

すると、この石は、村を守るために海馬に立ち向かっていきました。

海馬は、石に頭をすりつけるようにして暴れましたが、徐々に弱ってきて、

ついにはヌルガーで水を浴びて海に戻って行ったのです。

この石は、海馬と戦って村の人を助けたことから、「御恩石」呼ばれるようになり、

今も祀られています。道を広げたり、何か工事するときも、

その石だけは動かさずにそのまま置いてあるそうです。

字根武原/字東から粟国空港に行く途中の原野。

御恩石/海から出現した怪物から、島人を守ったのでこの名がある。

海馬/ふつうセイウチを指すことが多い。ここでは、馬のように大きい海獣の意味か。

ヌルガー/字西の背後の丘陵上にある池。昔ここで祝女が水浴し、身を清めたことから、この名がある。





特集Ⅱ

わたしたちの島

むんじゅる インタビュー

天然塩づくり、観光、農業の 自らの仕事に取り組む3人 島への思いを語っ

分野で、島の将来を見据え、 の島人に、仕事への思い、 ていただきました。



粟国村女性連合会 会長

呉屋 貴美江さん



株式会社 沖縄海塩研究所 代表取締役

佐久間 美代子さん





世界中の人々を粟國の塩で健康に

創業者の父は幼少の頃から体が弱く、人間の健康には食が最も大切であることを知り、自然食の中でも塩の重要性を感じ、塩の世界に入っていきました。

当時、父は国の認めた再生塩のミネラル不足に着目し、「世界中の人々を塩で健康に導く」ことをコンセプトに「ミネラル分が十分に馴染んだ、人体に最も良い塩」を作る研究を続けました。

そして、塩作りの聖地を求め沖縄県内をめぐり、塩の研究を始めてから21年後の1994年、粟国島に念願の塩工場を完成させました。粟国島を選んだのは、タワーでの海水の濃縮に必要な風が1年中吹き抜けることと、塩工場による雇用の創出が島の元気に繋がるという確信からでした。また、粟国島には、塩に関わる伝統的な祭祀もあり、塩が神事に深く関わっています。

父は「塩を通して世界の人々を健康に導きたい」という志の下、「栗國の塩」を完成させました。ミネラル分を残すため、製造工程の一切を熟練した職人の手作りにこだわります。

現在、当社は学校給食への塩の無償提供や、授業の一環として塩づくり体験を実施しており、未来を担う子どもたちに地域産業への関心を深めるとともに、食の大切さや物づくりの素晴らしさを伝える食育活動を行っています。栗国島に、塩づくりを通して「心地よい地域づくりと癒しの場を提供する」というビジョンを描いています。

生命活動に欠かせない塩。父の塩を大切にすることは命を 大切にすることにつながると感じています。今後も父を尊び、 志を受け継ぎ・守り・後世に伝えていくべく、栗国島への畏敬 の念を抱き塩作りに取り組みます。



農家

玉寄 文雄さん

農業推進員として、 若者へ野菜づくりを指導したい

栗国村小中学校の給食センターに勤めたあと、栗国村役場で14~15年ほど勤務し、栗国村議会議員を4期務めました。その合間をぬって、野菜作りをしていました。

農協の各支部が合併してJAになる前は、南部農業改良普及センター指導員が粟国島に来島し、野菜作りの指導をしてくれました。 土を起こして苗を植えてと、農業の基礎から学びました。玉ねぎが1トンほど収穫できた時もあり、当時、収穫した玉ねぎは県外へ出荷していました。もう20~30年前の話になりますが、ある日、隣の人が「県外の親戚が、『生産者は粟国島の玉寄文雄さん』と書いてある玉ねぎを買って食べたらとてもおいしかったと言っていたよ」と教えてくれたことがあります。それを聞いた時は、とても嬉しかったですね。その親戚の方は、東京の築地で私の玉ねぎを購入したと聞きました。

現在は、きゅうり・ゴーヤーなど10種類ほどの野菜を作っており、 採れた野菜は時々JAに出荷したり、子どもや親戚に送ったりしてい ます。野菜を作ると元気になるので、楽しみながら続けています。

今年満83歳(2021年現在)になりますが、現在、農地利用最適化推進員という役職をあずかっており、2期目を務めています。担当する地区の担い手への農地集積集約化や、遊休農地の発生防止解消の活動を行っています。

粟国村は遊休農地や耕作放棄地の問題、担い手不足などの課題が多く、今後も粟国村の農地・農家を守っていくために、若い人たちやUターン・Iターン者に農家の楽しさや興味を持ってもらえるよう、これまで培った野菜作りや出荷についての知識や経験などを、野菜作りに携わる若者へ伝えたり、相談に乗ったりして、粟国村の野菜作りの活性化に貢献していきたいと思っています。

女性連合会の活動は、美化活動・特産品作り・島おこし 運動・特養あぐにのデイサービスへのボランティア活動の 4つがあります。

美化活動は、草刈りや花植えなどを毎月第2土曜日に行っており、島に帰ってくる人から「以前より村がきれいなった」と好評です。

また、特産品作りにおいては、島の特産品である「栗國の塩」と島唐辛子をブレンドした新たな薬味を、このたび村内で販売することになりました。今後も会員の意見を取り入れて、多くの特産品作りに取り組んでいきたいと考えています。

島起こし運動として、青空マーケットを毎月第4日曜日に開催しており、島内の農家や家庭菜園で採れた野菜、野菜や花の苗、ハンドメイド雑貨の販売を行っています。お客さんも徐々に増えて、笑顔があふれている場所になっています。コロナ禍の中、感染対策を行いながら、島の皆さんや地域おこし協力隊のご協力で無事2021年3月に開催30回を迎えることができました。

以前は、離島体験交流会や村内イベントの企画・運営などにも取り組んでいましたが、現在は、新型コロナウイルス感染防止のためほとんどなくなっています。

現在、那覇在住の粟国会員の皆さまとの交流会を開催 できないことや新規会員の入会が進まないこと、若い人た ちの積極的な参加が少ないことが課題となっています。

このような課題を解決するために、また、住みよい粟国島にするために、村や村民の皆さんと連携を取りながら、会員一同、精力的に活動し貢献していきたいと思っています。

12 AGUNI VILLAGE





人体に不足しがちなマグネ シウムを中心とした無機微 量元素の濃縮液です。熱中 症対策はもとより、お肌の自 然治癒力を高めます。

1栗國の塩、にがり

熟練の職人が丹精込めて炊き上げました。素材の うまみを引き立て、発酵食品の効果も促進します。 多くの有名料理店でも評判を得ている塩です。

MADE IN AGUN,

栗国島では、島の自然、風土、 文化を生かした特産品づくりが 取り組まれています。



4もちきび

少数の農家さんが手作業で丹 精込めて作った貴重な「マー ジン」。栄養価が高く、ご飯に 混ぜて炊くとコクと甘み、モチ モチとした食感が楽しめます。

⑦もちきびかりんとう

粟国島で収穫されたもちきびを 活用し、手づくりの素朴な型とも ちきびの風味がそのまま楽しめる プレーンの他、塩、黒糖の3種類。





②そてつ実そ

全国的にもめずらしい、ソテツの実のデン プンを使用した味噌。収穫から加工まで時 間をかけて作られています。昔は各家庭で 作られた伝統の逸品物です。

③栗國の塩 島とうがらし ブレンド

た島とうがらしの粉末をブ レンドしました。辛みと塩 のうまみのバランスが程よ く、どんな料理にも使える 万能調味料です。

粟國の塩に島で栽培され

⑥あんだんすー

⑤ らっぎょうざ

無農薬自家栽培の島らっきょう を使用した、大人からお子様ま でおいしく召し上がっていただけ る餃子です。水餃子にしてスープ と一緒に食べても美味。



⑧かち割り黒糖

沖縄伝統の保存食、油みそを

粟国特産のソテツ実そで作り

ました。豚油のコクが効いた、

ご飯のお供、煮付け等の味付け

にも使えます。

粟国島の海風をたくさん 浴びて育ったサトウキビか ら作られた、ミネラル豊富 な黒糖。全国の有名菓子 店などにも使われている名 産品です。

⑨もちきび麺(乾麺)

粟国産もちきび入りの乾麺。冷や したざるそばの他、パスタ、かけう どん、チャンプルーなどのアレンジ **⑫あぐにようかん** も。料理の幅が広がる一品です。 乘国鱼

んです。プレーン、粟国黒糖、 粟國の塩入りの3種類。

⑪もちきび生麺

だしとシークヮーサータレの2種類。

粟国産もちきびを使用したオリジナ ル牛麺。弾力のあるツルツルとした食 感が特徴です。かつお風味のあっさり

(3)あぐにようかん

体内の汚れをきれいにすると言われる 「ウフマミ」(シロフジマメ)を原料に使っ たあっさりとした味のようかんです。黒糖、 うふ豆、粟國の塩入りの3種類。

(4)塩サイダーキャンディ

①泡盛とうがらし

島で育てられた島とうがらしの

「コーレーグース」。沖縄そばは

もちろん、炒めものや刺身などに

も使える沖縄料理の定番です。

粟國の塩を練り込んだオリジ ナルキャンディー。粟国島の キャラクター「アニーちゃん」 の顔が付いた、可愛らしいお 土産キャンディーです。



マーミー

粟国島産「アカマーミー」 小粒あずきを使用した程よ

い甘みが上品な味のようか

15島にんにく油味噌

島にんにく入りの自家製の油 味噌。ご飯やお酒のお供にな るおかず味噌です。調味料と して、焼き肉のタレとして、生 野菜にそのまま付けても。

問い合わせ先

2670粟国農漁村生活研究会 TEL:098-988-2059

910個とび吉 TEL:098-988-2611

①⑤パーラー豊幸 TEL:090-5929-5788

①(株)沖縄海塩研究所 TEL:098-988-2160

④8JAおきなわ粟国支店 TEL:098-988-2261

⑬栗国製菓所 TEL:090-7455-9788

③粟国女性連合会 TEL:090-6863-9218

⑤かりゆし TEL:090-6863-9218

女性たちの創意工夫が生かされた特産品



もちきびかりんとうやあぐにようかんを製造している粟 国農漁村生活研究会加工部とそてつ実そを製造してる粟国 村ソテツ味噌生産組合は島の女性たちで構成され粟国島の 黒糖、塩、ソテツ、もちきびなどの特産物を活用し、二次製品 研究開発に取り組んでいます。

昭和32年に発足された「生活改善実行グループ」が母体

となっていて、現在は「農漁村生活研究会」として活動し、農 村女性の生活改善・資質向上として、料理教室、野菜栽培講 習会等にも取り組んできました。

昭和60年代の「一村一品運動」が契機となり、「ささげよ うかん」「そてつ味噌」の製品化をスタートし、平成2年には 特産品加工センターが建設され商品開発の強化策として、 生産活動に携わる「加工部」が結成されました。

特産品づくりの体験教室や次世代への後継者育成も行い、 こういった女性としての創意工夫を生かした情熱と行動力 は、島の地域活性化に寄与されています。

平成9年 離島フェアで「島おこし奨励賞」受賞

平成11年 「全国農業協同組合中央会会長賞」受賞

平成12年 県知事賞(農業改良普及事業)受賞

平成13年 離島フェア特別賞(もちきびかりんとう)受賞 平成15年 離島フェア特別賞(そてつ味噌)受賞

地道な活動と功績が認められ平成19年には農林水産大臣

賞も受賞しています。

14 AGUNI VILLAGE AGUNI VILLAGE 15

味噌

豊かな自然、独自の文化、 むんじゅる節光祥のふるさと。

西地区

- ●ヤマトゥガー
- 2カキノ殿
- 3 ヌンドゥンチ(宮小)
- 4 カンカーハイ
- 5 トゥマンナ殿
- 6イビガナシー(八重大中)
- **7** モービラチジ
- 8 字西の御願の植物群落
- **10**タレーラムイ
- 10 ガタノコ御嶽
- 12大正池(ミーガー)
- **®** ヌルガー
- 4 龍王ブリー
- **(**りナラチカー
- 16 草戸御願
- 10シマイ御嶽(松尾御嶽)
- 18松尾御嶽のイタジイの木
- 19 テラチ御嶽
- 20 番屋塚(対指定・史跡) → 番屋原の広場の景勝の地
- 2 筆ん崎

その他 24 トンヌエー

※ 洞寺(テラ)

- 1シールー(シヌルー) プナカガー
- 2下のカー
- 8 チャガーガー

10 観音堂

9 安里ノ殿

10ババノ殿

13 仲里力一

15 ウヘージ

16 アラバ御嶽

17 ヤガン御嶽

12 サーターグルマ

14 ナカマーカー

2 イチンチャ (イシンサ) 11 アガリンガー

その他 18 ハンタ上ノカー 20 サキダカー (防火水槽)

19 ハンタ下ノカー 21 子ノハ

- 4 番所力一
- 5 アダンナノ殿

83 トゥンチェードゥンチヌカー

- **1**コジリチュー

- ❸ 西ノハ
- クライタスプンジ ❸ アカムヤー € ターンスク 26 ジンバマ
- ☑ 天人扇(あまま―おうじ) ❸ 前原の大石
- ☞ アラカチーカー 28 トゥージウサーラー
- 2 イソージ
- ❸ 土蔵(チチグラ)
- € イルチンガー
- € アナガー
- 40 イサラーカー 4 八重川グスク

《原組名の概要》

粟国村には字の行政区をさらに細分化した原組と いう独自のコミュニティがあります。かつて、浜区 においては16の原名、東区においては34の原名、 西区においては33の原名がありました。その後、 土地改良区総合整備事業などが行われ、換地登記に より、一部の原の統合が行われました。

いつごろから原名で呼ばれていたのかは定かでは ありませんが、現在、小字として字浜は3組、字東 は4原、字西は4原と、11の原組が残っています。

(字浜誌より、抜粋)

浜地区

東地区

1 忠魂碑·慰霊塔

4 坂木那原海岸景勝地

3 唐人墓

8 ミルク

5 トゥマイ小

6 ククヤムイ

7 ふるさと資料館

- 3上のカー
- 9 ムイ小(ユーウクシムイ)

- **6** ユノーサーウガン
- 12 ボージャーイノウ
 - その他 ② アハグヮーカー(跡)
 - ② クシガー(防火水槽)
 - 2 ユーナカチヌガー(跡
 - ② ンマトゥガー

運ん崎

15 ヘータキ

16ナカタキ

かウフタキ

- 24年ノハ 25 ハナンダ 23 卯ノハ
- トーミーカー

洋上から望む栗国島の南西側には、英国 にある白亜の崖を彷彿とさせるような地形 を見ることができます。この島の人はこ の柔らかい岩質である凝灰岩を巧みに利用 し、トゥージ(チューディ)と呼ぶ水溜や 終(つい)の住処まで作り上げました。厳 しい自然環境ながら、たくましく生きた先 人の知恵が今も島の各所に見受けられます。





₩

西

EP





粟国港



異国漁港 行

むんじゅる節の碑

キャンプ場



集落から出ると緑豊かな 田園風景が広がる





浜コミュニティー

マハナ(筆ん崎)より渡名喜島を望む マハナ(筆ん崎)からの風景

粟国コラム

人生の応援歌

栗国島には中学校までしかなく、高校に進学するには島を出なければなりません。新緑が芽吹き始める3月、わずか15歳で島を離れていく子ども達を、かつて港で見送る母親や祖母たちが、自分の胸の思いを即興で歌った歌が「シタリー節」です。

「これから出会う人々と心を合わせ、良き結果が得られますように、心は平和で、体は頑丈、知恵を磨き頑張る力が備わりますように」シタリー節にはわが子を見守る親の情愛が込められており、島を出ていく子ども達の心には歌の歌詞とメロディーがしっかりと刻まれます。

港を出た船は那覇を目指します。小さくなっていく故郷から言い知れぬシタリー節のパワーが呼びかけ、志に火が付き、流した涙はやる気にかわります「やってみるか、やってみろ、君ならできる、負けるな」と自らを鼓舞して那覇泊

港に上陸する子どもたち。

たとえわずかな少年時代であっても故郷栗国島はいつまでも心の中で生きています。シタリー節は人生の応援歌であり、「15の春」の島立ちの際、少年時代の故郷に別れを告げ別離の寂しさを希望に変えて青雲の志を胸に「立志の心」で旅立つ原点の歌なのです。

粟国村では「シタリー節」をこれからも村民の 教訓歌として大切に受け継いでいくために、歌碑 を建立しています。

1905年、日露戦争時に行われた日本海海戦に先立ち、バルチック艦隊発見の知らせを宮古島から石垣島に伝えた5人の漁師は、のちに「久松五勇士」と呼ばれ、その名を歴史に残している。ところで、バルチック艦隊を最初に発見したのは、奥浜牛という粟国島出身の青年だったということは、あまり知られていないのではないだろうか。

1905年5月23日、那覇から宮古島へ雑貨物を運んでいた奥浜氏は、極東へ向っていたロシア海軍のバルチック艦隊に遭遇した。バルチック艦隊も彼を視認していたが、龍の大漁旗と、独特の長髪のために中国人と判断して捕えなかったようだ。奥浜氏は宮古島の漲水港(現・平良港)に26日午前10時頃に着き、駐在所の警察官とともに役場に駆け込み、その情報を伝えたのである。奥浜氏は世を去る時、請書に捺印した印鑑を遺族に渡した。その時遺言として、その印判は自身が重大な役目を果たしたるものだから、他日の役に立つことがあろうと遺されたという。



受 浜 は は は に 発見した









大洋の中に 豊かなくらしと 文化を築く 粟国

6つのむらづくり

- 1. ダイナミックな島の自然と共生する
- 2. 島の元気な経済活動をリードする
- 3. 島での安全・快適な暮らしを支える
- 4. 島の誇りと愛着で包み育む人づくり
- 5. 島の人々の絆が支え合う、幸せの実現
- 6. 未来に続く島のむらづくり、夢の実現へ



取り組みをすすめ、みんなが自然にやさる本村の豊かな自然を大切にした土地の

みんなが自然にやさしい暮らしを営む社会の実現を図りま

クの拡充に取り組み、

離島の厳し

い自然環境・条件の中で

用を進めるとともに、

省エネルギ

ーの導入に向け

村民が豊かな暮らしを営むことができる環境の実現をめざします

また、島外交通体系の充実・通信ネットワー

ダイナミッ な島 自然と共生す る

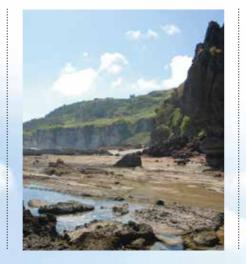


この空中写真は、国土地理院長の承認を得て、同院撮影の空中写真を使用した。(承認番号 平24沖縄、第2号)

■島の自然を大切にしながら 土地利用

栗国村はリゾートなどの観光開発が行わ れておらず、豊かな自然が色濃く残されて おり、特に動植物、地質などについては学 術的にも希少性が高く、島の宝が残されて います。平成24年11月には島の全域が県 の鳥獣保護区(島中央の御嶽林は特別保護区) に指定されました。

粟国村では、島の特性を考慮に入れた土 地利用の大切さを村民と共有しながら、自 然環境の保全、活用の取り組みを充実する とともに、村民の暮らしを守りながら、島 の活力を促進する土地利用を進めています。



■環境にやさしい粟国村

平成22年度には、「粟国村地域新エネ ルギー・省エネルギービジョン策定等事業」 を実施、重点的に太陽光、太陽熱及び小水 力利活用の可能性調査を行いました。「き れいで美しいふるさと」 "グリーンエコア イランド粟国村"の理念の実現のため新工 ネルギーの積極的導入に取り組んでいます。 平成26年には風力発電設備が完成し6月よ り稼働しています。また外灯や公共施設に 高効率・省エネルギーのLED灯の導入も 促進しています。



■島人の暮らしを支える 島外交通の充実。

離島村である本村にとって、島外との交通 ネットワークは欠かせない基盤です。海上交 通は、村営の「ニューフェリーあぐに」が泊 ~粟国間を1日1往復運航、村民の生活や村 の産業振興にとって大きな役割を果たして います。また、島内では平成26年から村営 のコミュニティーバスとデマンド型乗合タク シーを導入し、交通弱者や来島者の村内で の交通移動手段確保に取り組んでいます。









■島人の暮らしを豊かにする 地域情報化

昭和54年4月に電話が自動化され、さらに、 現在はNTTドコモ、沖縄セルラー(au) そ して、平成25年度にはソフトバンクも利用可 能になり、全域で利用可能となっています。

昭和58年には防災行政無線が整備され ましたが近年、施設の老朽化や個別受信機 の不備などにより、情報が十分に伝達され ていない状況があることから、平成22年 にデジタル化、及び平成23年には全世帯 に個別受信機を設置しました。平成17年 にはADSL環境も整備され、平成28年に は先島地区と南部離島地区で海底光ケーブ ルも開通し、平成30年には光ブロードバ ンドが開通しました。





魅力ある就業の場の形成に取り組んでいます。

体験型のツーリズム事業の育成を図るなど、

基幹産業である農畜水産業を素材とした

する

産業振興

島 異なる業種間の連携によって経済的な付加価値の上昇や、ものづくり産業の振興や、体験型のツーリズム事業の育業、栗国村の産業全般の活性化に向けては、基幹産業である。 の元気な経済活動を

■観光・レクレーションの振興

観光については、平成22年に設立され た一般社団法人粟国村観光協会を中心に、 粟国村にある自然や歴史、文化、産業、社 会資源などの総合的な魅力を活性化して結 ぶ取り組みを進めるとともに、体験ふれあ い型の観光・レクリエーションの開発・育 成を図っています。



■粟国島パークゴルフ場

平成24年5月、海を見渡せる景勝地・マハナ近く に粟国島パークゴルフ場が完成しました。大自然を 満喫しながら、子どもからお年寄りまで、健康づく りだけでなく家族・友人との交流を深める場として、 広く利用されています。





■元気な農業・畜産業を育てる

農業を活力ある基幹産業に育てていくた め、圃場整備やかんがい施設などの基盤整 備の推進に取り組むとともに、付加価値の 高い品目栽培や遊休農地の解消、農産加工 品の開発、地産地消の普及、農業活性化に 取り組みます。また、村営牧場を充実させ て、畜産業全般の育成をリードする役割と ともに、体験交流といった新たな展開など を模索し、多面的な経営の安定化に取り組 んでいます。



■海を守り、つくる水産業

粟国村では、漁業設備の近代化や観光漁 業(ブルーツーリズム)、水産加工業との連 携システムの構築、また、後継者が魅力の もてる元気な漁業づくりに取り組んでいま す。また、漁港の多面的活用や地元消費の 奨励、養殖導入の検討など、柔軟な発想で、 村民生活に直結した漁業の育成にも力を入 れています。

■粟国島ならではの ものづくり産業

粟国村では、農畜水産加工という一次産 業と連携した特産品づくりや、海水からの 産物である塩づくりのように、この島の自 然を材料とした商品づくりなど、コミュニ ティービジネス的な発想でものづくり、産 業おこしの支援とともに、こうした趣旨に かなうものづくり振興の人材の受け入れに も取り組んでいます。



もちきび









災害時や緊急時の対応機能を高めて

「島で暮らしたい」と思う、

そして誰もが島で暮らし続けることのできる環境作りを進めています。

島での安全 快適な暮ら しを支える

村民の根幹を支える環境を整えるとともに、粟国村では道路や上下水道の整備・充実、 集落の環境の整備や景観の保全・育成・創造に務め環境衛生の向上など、



■島に暮らし続ける環境を

粟国村では若者の定住化を推進しており、 その受け皿となる村営住宅を10棟(34世帯) 建設し、また移住希望者の住居を確保する ため、平成28年には、単身者用の村営の 定住促進住宅6戸を建設しました。子ども からお年寄りまで、誰もが快適で安全に暮ら すことのできる集落環境の整備、充実に取り 組んでいます。



■粟国らしく美しい景観

先人達の知恵が生み出したフクギの屋敷 林や石垣などは景観的にも優れ、年月を経 た現在も集落内に落ち着きを与え粟国らし い景観を作り出しています。また聖域であ る御嶽や拝所、集落内の道路沿いなどでは 地域住民が自主的に緑化・美化活動を実施 しており、集落内に潤いを与えています。





■誰もが安全で快適に 利用できる道路環境

粟国村の道路網は、現在、県道1路線 村道103路線となっています。

現在、村では、島内一周道路の整備をは じめとした島内道路ネットワークの整備・ 充実をすすめているほか、道路の状況に応 じた緑化・美化や交通安全対策の充実を図 り、誰もが安全で快適に利用することがで きる道路環境の実現に努めています。



■環境にやさしい 安全・快適な上下水道

粟国村は孤島性の高い離島であるため、 水資源に乏しい地域環境にあります。その ため生活用水は長い間、降雨や井戸水を利 用してきましたが、昭和62年にかん水淡 水化施設を伴う簡易水道が整備され、平成 15年度には海水淡水化施設に変更し、平 成30年3月から水道広域化に伴い水道用水 の供給が開始されました。





■島人の暮らしの 安全・安心を守る

粟国村は消防本部の非常備化団体である ため、消防組織としては消防団のみで構成 されています。粟国村消防団は昭和47年5 月に結成され、火災消防作業をはじめ、台 風時の災害対策や救急患者搬送を行ってい ます。

■ゴミを減らして再資源化

粟国村のごみ処理施設は、平成10年には 埋立容量15,000m3を有する一般廃棄物最 終処分場が整備されています。平成27年 からは、ゴミ質の多様化や施設の老朽化に 伴い、家庭ゴミの有料化、戸別回収をスタ ートし、『燃えるゴミ』については那覇・ 南風原クリーンセンターへ処理を委託して います。ゴミ回収については、4種類分別 を実施し、空き缶やペットボトル、古紙等 についてはリサイクルに取り組んでいます。 さらなる循環型社会の形成を図るため、生 ゴミの島内処理体制を構築します。









島

の誇りと愛着で包み育む人づ

教育文化

■みんなでたくましい 子どもたちを育てる

本村の学校教育は「豊かな心を持ち、自 分で考え、進んで学習する子」の育成を目 標に掲げ、幼児・児童生徒の生きる力を育 んでいます。

幼児・児童生徒数はほぼ横ばいで推移し ているものの、長期的には減少傾向にあり ます。

平成27年から給食の無料化を行い、平 成28年には幼稚園の3年保育・保育料無料化、 また園舎・学校舎を新築し、子どもたちが のびのびと学習でき、心身共に健やかな成 長を促進する環境づくりにも取り組んでい

ます。本村特有の伝統文化の体験学習にも 力を入れ、また「15の旅立ち」に向けて、 職場体験等のキャリア教育も行っています。 さらに、離島という地理的条件による教育 環境格差を解消するために、平成27年に 村営塾を開設しました。家庭・地域・学校・ 行政の連携を強化し、地域全体で子ども達 を見守り、育ててゆく教育環境の充実に取 り組んでいます。



■一人ひとりの 生きがいをつくる

本村の生涯学習活動は、村民一人ひとり の自己啓発及び生きがいづくりを推進する うえで重要であり、島の自然を活かした野 鳥観察会や星空教室など、村民自らが創り 上げてきた自発的な活動に取り組んでいます。





■視野を広げる交流活動

本村での生活や生産活動は常に島外との 関わりで成り立っており、他方面にわたる 交流の経験は、村民一人ひとりの資質の向 上や生きがいづくりにつながるだけでなく、 未来の粟国を担う人材にも大きく寄与して います。





■粟国の誇りや財産を みんなで受け継ぐ

本村では、島の風土と先人たちの創意工 夫によりマースヤー、ヤガン折目など特徴 ある地域文化が形成されています。琉球民 謡の「むんじゅる節」は粟国村が発祥の地 で、6月16日を「むんじゅる節の日」とし て制定し記念行事を挙行しています。この ような先人から受け継がれてきた有形・無 形の地域文化は、現在も村民の生活と深い 関わりをもっており、村民の誇りを受け継 ぐうえでとても重要な役割を果たしています。











見守り育てる教育環境づくりに取り組んでいます。また、村民一人ひとりの生きがいづくりや、地域活動の担い手となる、栗国村では、離島村特有の「15の旅立ち」に伴い、じりつ(自立・自律)できる子どもの育成を進め、地域全体で子どもたた 7.材の育成に努めるとともに、地域の歴史・文化を継承し、村民一人ひとりがふるさとに誇りと愛着を持つ 国際性に富む幅広い視野を持つ人材の育成に努めます

地域全体で子どもたちを

むらづくりを目指します。さらに、県内外との交流の機会をつくり、





努めるとともに、

地域での見守り体制や誰もが気軽に社会参加できる環境づくりをすすめています。

健康づくりを支援します。

子育て家庭や、

そのため、

安定した保健

児

などに対する福祉サービスの提供に

医療サービスを進めるとともに、

安心して暮らし

ことのできる福祉のむらづくりを目指します。粟国村では、子どもから高齢者、障がいの** 島 が支え合う、 ての 実現 対民が み慣 れ た地域で、

■健やかで安心して暮らせる 心して健やかな暮らしが営めるよう、村外 保健・医療サービス 現在、粟国村には医療施設として県立診 療所が設置され、医師1人、看護師1人、 事務職1人が常勤し、村民の診療や健康増 ます。 進にあたっています。これからも村民が安

の医療機関と連携した、安定的で迅速な医 療の拡充をすすめています。また、生活習 慣病の予防などの保健指導の強化と、国民 健康保険制度の円滑な運用に取り組んでい

■いきいきと暮らし続ける 長寿のむら

粟国村では、「粟国村高齢者保健福祉計 画」に基づき、高齢者の実態把握や介護予 防教室の開催をはじめ、地域包括支援セン ターを中心に、民生委員・児童委員、保健 師、区長などとの連携による高齢者に関す る相談など、包括的に支援しています。



■安心して子育てできる環境を

栗国村では、子ども・子育て家庭を包括 的に支援するため、粟国村子ども・子育て 支援事業計画に基づき、延長保育や村立幼 稚園での預かり保育の実施、また乳幼児医 療費の助成、出産準備金及び出産祝い金、 妊婦健診時の航空運賃・フェリー運賃の助 成等を行っています。すべての子育て家庭を 支えるため、行政・村民が一緒となって総合 的な子育て環境の整備を目指します。



■みんなで支えあう

粟国村では、「粟国村障害者計画及び障 害福祉計画」に基づき、障害者自立支援法 に基づく各種サービスの展開をはじめ、教 育や住宅、就労などの幅広い分野に関する 支援に取り組んでいます。



粟国村では、生活困窮世帯や生活保護世 帯などの社会的支援を必要とする世帯に適 切な支援を図るとともに、老後の安定した 生活が過ごせるよう、国民年金制度の円滑 な運用に取り組んでいます。

■ともに支えあう地域社会

粟国村はマースヤーなどの伝統文化が根 付き、村民同士による助け合いや交流が残 っています。村内には3つの集落(字)や、 さらに原(はる)や組といった地域コミュ ニティをはじめ、老人クラブ連合会や女性 連合会などの各種団体が組織され、自主的 な活動を展開しており、むらづくりの様々 な場面において貢献しています。









未来に続く島のむらづく

夢の実現へ

行財政運営

■住民参加の仕組みづくり

粟国村では村民が自らむらづくりのあり 方を考え、参加・提案・協力して、積極的 にむらづくりの役割を担っていけるよう、 ホームページや広報誌の充実に取り組んで います。

また、郷友会など本村を外部から支える 人々のネットワークとの連携・拡充を図り ながら、地域住民が主役のむらづくりに取 り組んでいます。





http://www.vill.aguni.okinawa.jp/





■効率的な行政運営

粟国村の行政機構は、村長、副村長をは じめ、総務課、会計課、民生課、経済課、 船舶課の5課と教育委員会から構成されて います。

効率的な組織体制の充実・強化や職員一 人ひとりの能力向上と、適切な事務執行や 広域行政の連携などにより、行政サービス の向上に取り組んでいます。





【村長】髙良 修一

【副村長】與那城 弘明





【議長】山城 雅雄 議員 【副議長】城間 成弘 議員





太田 晃 議員



上江洲 智章 議員

小橋川 聡 議員

赤嶺 眞知子 議員

与那城 義幸 議員

30 AGUNI VILLAGE

村章·村木·村花·村花木·村歌 A chapter, a tree, a flower, flowering trees, song of the village





村章

海を象徴する青地の中に栗国を象徴する頭文字「ア」を島の形態に合わせてデザインしている。 その図は、栗国の3カ字に因んで3つの部分によって構成され、下辺の四辺形は村民の固い決断 を表し、上方に広がる円弧は村の限りない発展を象徴している。 [昭和56年11月31日制定]



村木 フクギ

オトギリソウ科の常緑高木。原産地は台湾・フィリピン。

選定理由

昔から防潮・防風林等の屋敷木として植栽され、フクギ並木は緑の村づくりを象徴。 [平成11年6月14日選定]



村花 テッポウユリ

別名リュウキュウユリ(琉球百合)。南西諸島の海岸の崖などに生えている。

選定理由

古くから村内の原野や浜辺に自生し、純白の純粋な心と堅い団結心を表現し、その芳香は村の限りない発展を象徴する。 [平成11年6月14日選定]



村花木 ソテツ

ソテツ科の常緑小低木。原産地は九州南部及び南西諸島、中国南部で雌雄異株。

選定理由

戦前・戦後の食糧難の時、葉は燃料として実や芯は食材として、また雄花は肥料として 飢餓から救ったソテツの恩恵に対し「生きる力」の象徴として「粟国村の花木」に値する。 [平成11年6月14日選定]



粟国村歌

- 1. マハナの岬の れいめいの 黒潮高く うち寄せて 希望が朝を 呼ぶところ 新生の意気 はつらつと いざ奮い立つ 粟国村 誇ろうわれらが ふるさとを
- 2. 輝く空よ 白浜よ 平和の息吹き みなぎりて るり紺碧に 澄むところ 繁栄の歌 たからかに いざ励みゆく 栗国村 伸ばそうわれらが ふるさとを
- 3. 歴史を偲ぶ 八重川城 文化の光り 照り映えて 理想に燃えて ゆくところ 躍進の道 手をとりて いざ築きゆく 粟国村 仰ごうわれらが ふるさとを

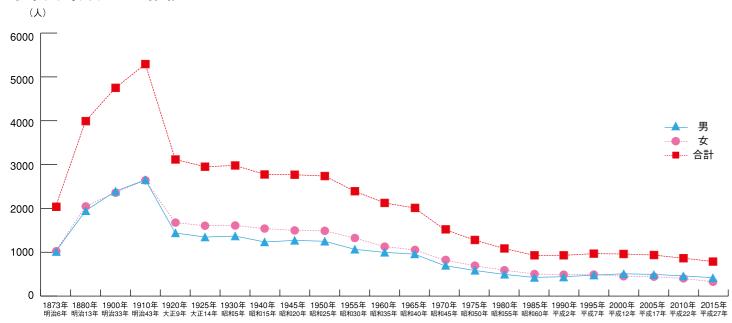


資料編

人口と世帯数推移

	男	女	合 計	世帯数	備考
1873年(明治 6年)	1,014	1,023	2,037	260	大蔵省調べ
1880年(明治13年)	1,945	2,046	3,991	741	沖縄県統計
1900年(明治33年)	2,392	2,358	4,750	742	沖縄県統計
1910年(明治43年)	2,651	2,641	5,292	748	沖縄県統計
1920年(大正 9年)	1,440	1,676	3,116	710	国勢調査
1925年(大正14年)	1,346	1,605	2,951	715	国勢調査
1930年(昭和 5年)	1,369	1,610	2,979	718	国勢調査
1935年(昭和10年)	1,234	1,540	2,774	704	国勢調査
1940年(昭和15年)	1,270	1,498	2,768	677	国勢調査
1950年(昭和25年)	1,250	1,488	2,738	687	国勢調査
1955年(昭和30年)	1,067	1,325	2,392	609	国勢調査
1960年(昭和35年)	997	1,128	2,125	561	国勢調査
1965年(昭和40年)	957	1,054	2,011	528	国勢調査
1970年(昭和45年)	697	825	1,522	466	国勢調査
1975年(昭和50年)	586	694	1,280	430	国勢調査
1980年(昭和55年)	495	591	1,086	405	国勢調査
1985年(昭和60年)	426	504	930	398	国勢調査
1990年(平成 2年)	442	488	930	393	国勢調査
1995年(平成 7年)	478	490	968	403	国勢調査
2000年(平成12年)	509	451	960	475	国勢調査
2005年(平成17年)	494	442	936	414	国勢調査
2010年(平成22年)	460	403	863	379	国勢調査
2015年(平成27年)	434	325	759	429	国勢調査

●粟国島男女人口推移



		年少人口割合	高齢化率	世帯数	就	業人	
	人 ロ 年少人口書		同断10年 世市奴		第1次(比率%)	第2次(比率%)	第3次(比率%)
昭和40年	2,011	42.1%	16.8%	528	818 人(87.8%)	22 人(2.3%)	92人(9.9%)
昭和60年	930	21.7%	31.5%	398	212人(53.7%)	39人(9.9%)	144人(36.4%)
平成17年	936	15.7%	34.6%	414	37人(11.1%)	70 人(21.1%)	225人(67.8%)
平成22年	863	17.0%	37.5%	379	37人(11.1%)	70 人(21.1%)	225人(67.8%)
平成27年	759	12.4%	32.7%	429	37 人(10.5%)	88 人(25.1%)	226人(64.4%)

年齢構成

• • •	111/2									
		男	女	合計	90~					
	90~	3	8	11	80~89					
	80~89	19	51	70						
	70~79	48	75	123	70~79					•
昭和	60~69	76	98	174	60~69					
和	50~59	59	82	141	50~59					■ 計
60 年	40~49	35	29	64	40~49		_			
年	30~39	44	26	70	30~39		_			一
•	20~29	34	27	61	20~29			_		_ 55
	10~19	57	51	108	10~19					
	0~9	51	57	108	0~9				ı	
	合 計	426	504	930	(歳) 0	50	100)	150	200
				A - I						
		男	女	合計	90~					
	90~	6	20	26	80~89					
•	80~89	31	67	98	70~79					
亚	70~79	63	83	146	60~69		l			
最	60~69 50~59	47 93	37 33	84 126	50~59					
平 成 17	40~49	75	38	113	40~49					=_
年	30~39	52	44	96	30~39					■計
	20~29	39	28	67	20~29					□ 女 □ 男
	10~19	36	40	76	10~19					一
	0~9	52	52	104	0~9				_	
	合 計	494	442	936	(歳) 0	30	60	90	120	150
			l ,	A = I						
		男	女	合計	90~					
	90~	5	22	27	90~ 80~89					
•	80~89	5 47	22 72	27 119	80~89					
₩	80~89 70~79	5 47 58	22 72 55	27 119 113	80~89 70~79					
◆平は	80~89 70~79 60~69	5 47 58 47	22 72 55 30	27 119 113 77	80~89 70~79 60~69					
◆ 平成22	80~89 70~79 60~69 50~59	5 47 58 47 102	22 72 55 30 48	27 119 113 77 150	80~89 70~79 60~69 50~59					
◆ 平成22 在	$ \begin{array}{r} 80 \sim 89 \\ 70 \sim 79 \\ 60 \sim 69 \\ 50 \sim 59 \\ 40 \sim 49 \end{array} $	5 47 58 47 102 51	22 72 55 30 48 37	27 119 113 77 150 88	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49					■請
◆ 平成22年 ◆	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39	5 47 58 47 102 51 43	22 72 55 30 48 37 39	27 119 113 77 150 88 82	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39					□ 女
◆ 平成22年 ◆	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29	5 47 58 47 102 51 43 40	22 72 55 30 48 37 39 27	27 119 113 77 150 88 82 67	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29					
◆ 平成22年 ◆	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19	5 47 58 47 102 51 43 40 27	22 72 55 30 48 37 39 27 37	27 119 113 77 150 88 82 67 64	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19					□ 女
◆平成22年◆	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29	5 47 58 47 102 51 43 40	22 72 55 30 48 37 39 27	27 119 113 77 150 88 82 67	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9	30	60	90	120	女男
◆ 平成22年 ◆	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9	5 47 58 47 102 51 43 40 27 40	22 72 55 30 48 37 39 27 37 36	27 119 113 77 150 88 82 67 64 76	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19	30	60	90	120	□ 女
◆ 平成22年 ◆	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9	5 47 58 47 102 51 43 40 27 40 460	22 72 55 30 48 37 39 27 37 36 403	27 119 113 77 150 88 82 67 64 76 863	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 (歲)	30	60	90	120	女男
◆ 平成22年 ◆	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9	5 47 58 47 102 51 43 40 27 40 460	22 72 55 30 48 37 39 27 37 36 403	27 119 113 77 150 88 82 67 64 76 863	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 (歲) 0	30	60	90	120	女男
◆ 平成22年 ◆	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9	5 47 58 47 102 51 43 40 27 40 460	22 72 55 30 48 37 39 27 37 36 403	27 119 113 77 150 88 82 67 64 76 863	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 (歲) 0	30	60	90	120	女男
*	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 合 計	5 47 58 47 102 51 43 40 27 40 460	22 72 55 30 48 37 39 27 37 36 403	27 119 113 77 150 88 82 67 64 76 863	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 (歳) 0	30	60	90	120	女男
*	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 合 計	5 47 58 47 102 51 43 40 27 40 460 男 13 32 42 92	22 72 55 30 48 37 39 27 37 36 403 女 27 57 30 33	27 119 113 77 150 88 82 67 64 76 863 合計 40 89 72 125	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 (歲) 0	30	60	90	120	女男
*	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 合 計	5 47 58 47 102 51 43 40 27 40 460 男 13 32 42 92 78	22 72 55 30 48 37 39 27 37 36 403 女 27 57 30 33 38	27 119 113 77 150 88 82 67 64 76 863 合計 40 89 72 125 116	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 (歳) 0 90~ 80~89 70~79 60~69 50~59	30	60	90	120	女男
*	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 高計	5 47 58 47 102 51 43 40 27 40 460 第 13 32 42 92 78 60	22 72 55 30 48 37 39 27 37 36 403 女 27 57 30 33 38 26	27 119 113 77 150 88 82 67 64 76 863 合計 40 89 72 125 116 86	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 (歳) 0	30	60	90	120	150
◆ 平成22年 ◆ ◆ 平成27年	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 合 計	5 47 58 47 102 51 43 40 27 40 460 第 13 32 42 92 78 60 44	22 72 55 30 48 37 39 27 37 36 403 女 27 57 30 33 38 26 36	27 119 113 77 150 88 82 67 64 76 863 含計 40 89 72 125 116 86 80	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 (歳) 0 90~ 80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39	30	60	90	120	150
*	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 合 計 90~ 80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29	5 47 58 47 102 51 43 40 27 40 460 第 13 32 42 92 78 60 44 31	22 72 75 30 48 37 39 27 37 36 403 27 57 30 33 38 26 36 19	27 119 113 77 150 88 82 67 64 76 863 63 63 63 63 64 76 86 89 72 125 116 86 80 50	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 (歳) 0 90~ 80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29	30	60	90	120	150
*	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 合 計 90~ 80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19	5 47 58 47 102 51 43 40 27 40 460 男 13 32 42 92 78 60 44 31 20	22 72 75 30 48 37 39 27 37 36 403 27 57 30 33 38 26 36 19 25	27 119 113 77 150 88 82 67 64 76 863 40 89 72 125 116 86 80 50 45	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 (歳) 0 90~ 80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19	30	60	90	120	女男 150
*	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 合 計 90~ 80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9	5 47 58 47 102 51 43 40 27 40 460 男 13 32 42 92 78 60 44 31 20 22	22 72 72 55 30 48 37 39 27 37 36 403 27 57 30 33 38 26 36 19 25 34	27 119 113 77 150 88 82 67 64 76 863 40 89 72 125 116 86 80 50 45	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 (歳) 0 90~ 80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9					女男 150
•	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 合 計 90~ 80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19	5 47 58 47 102 51 43 40 27 40 460 男 13 32 42 92 78 60 44 31 20	22 72 75 30 48 37 39 27 37 36 403 27 57 30 33 38 26 36 19 25	27 119 113 77 150 88 82 67 64 76 863 40 89 72 125 116 86 80 50 45	80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19 0~9 (歳) 0 90~ 80~89 70~79 60~69 50~59 40~49 30~39 20~29 10~19	30	60	90	120	女男 150

1 決算収支

11 // チャル、	^							単位:百万円
区分	歳入総額	歳出総額	形式収支	実 質	収 支 比率(%)	積立金	積立金取崩額	実質単年度 収 支
平成21年	1,401	1,226	175	143	21.0	27	0	84
平成22年	2,628	2,521	107	101	14.3	206	0	164
平成23年	1,420	1,278	142	45	6.7	35	180	△ 201
平成24年	1,845	1,686	159	145	22.4	145	200	45
平成25年	1,676	1,558	118	105	16.7	88	70	△21
平成26年	1,994	1,863	132	114	17.5	92	114	$\triangle 14$
平成27年	3,154	2,915	239	231	34.1	195	268	44
平成28年	1,678	1,425	254	238	36.0	244	167	83
平成29年	1,801	1,600	202	189	28.5	119	35	36
平成30年	1,815	1,554	262	208	31.1	81	235	△136

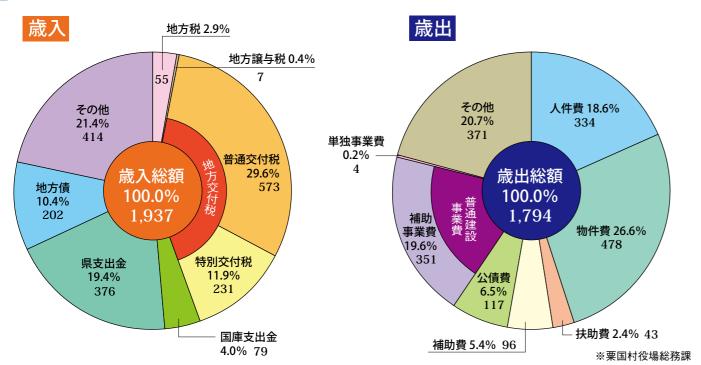
2 主要指標

区分	財政力指数	経常収支比率	実質公債費比率	税徴収率	現年課税分	滞納繰越分
平成21年	0.098	99.5	15.7	90.9	96.1	43.5
平成22年	0.092	99.2	13.4	89.5	96.1	19.0
平成23年	0.098	98.8	12.3	86.6	95.7	21.8
平成24年	0.09	99.6	12	92.4	94.3	63
平成25年	0.1	98.6	11.9	82.9	94.8	18.3
平成26年	0.1	95.4	11	77.3	89.5	12.2
平成27年	0.1	95.3	8.7	77.9	91.8	16.7
平成28年	0.1	98.1	7.2	72.1	88.4	9.8
平成29年	0.1	97.3	6.3	77.4	94.7	29.0
平成30年	0.1	98.1	6.1	77.4	86.0	27.8

※沖縄県企画部市町村課「沖縄県市町村概要」

※沖縄県企画部市町村課「沖縄県市町村概要」

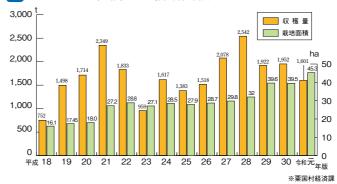
3 歳入歳出の状況(令和元年度/百万円)



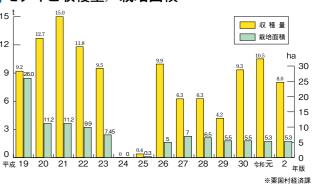
農林·水·畜産

資料編

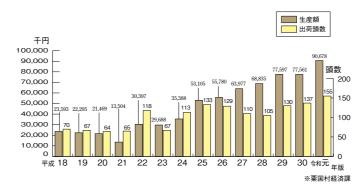
1 サトウキビ収穫量/栽培面積



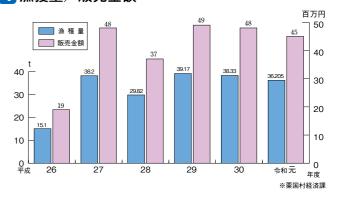
2 モチキビ収穫量/栽培面積



3 肉用牛の生産額および出荷頭数



4 漁獲量/販売金額



5 農業経営対数 2015

農林業センサス

法人	地方公共団体	個人
0	1	55

6 耕地面積規模別

経営耕地なし	0.3~2未満	0.3~0.5	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~3.0	3.0~5.0	5.0~10.0	10.0~20.0
1	2	14	12	15	3	4	3	2	0

7 農産物販売規模別

販売なし	50万円未満	50~100	100~200	200~300	300~500	500~700
10	12	16	8	4	4	

令和元年版 港勢調査

8 漁船隻数・動力総トン数規模別隻数および漁業種別就業者数

								-	
111.14.41.	漁 船	無動力	船外機付船		動	力 舟	h 隻	数	
地域名称	操船隻数	隻 数	隻 数	3トン未満	3~5	5~10	10~20	計	総トン数
粟国村	24	_	_	19	4	0	1	24	58.2

地域名称	11/1現在の海上作業 従事者数	最盛期の 陸上作業従事者数	新規就業者
粟国村	20	27	_

9 漁業金額別

地域名称	販売なし	100万円未満	100~300
粟国村	0	10	8

10 年齢別漁業就業者数

地域名称	15~24歳	25~39歳	40~59歳	60歳以上
粟国村	0	2	1	15

※いずれも男性

36 AGUNI VILLAGE AGUNI VILLAGE 37

1 フェリー粟国利用状況

区分	旅客数(人)	車両航送台数(台)	貨物量(t)	郵便量(個)	運航回数 (回)
平成20年度	18,382	2,337	2,409	8,154	294
平成21年度	17,860	2,543	2,693	10,501	295
平成22年度	30,540	3,312	10,700	11,198	303
平成23年度	29,177	3,790	2,039	10,438	294
平成24年度	23,219	3,793	2,034	10,438	288
平成25年度	28,255	2,376	2,255	8,660	296
平成26年度	26,062	2,665	1,929	8,884	277
平成27年度	26,733	2,573	2,119	9,171	299
平成28年度	29,080	4,203	1,961	10,782	306
平成29年度	29,034	5,622	2,338	10,741	310
平成30年度	29,003	5,059	1,732	10,060	300
平成31年度 令和元年度	27,736	5,592	2,374	10,249	307

※粟国村船舶課「運航実績報告書」

2 粟国空港利用状況

区分	乗客数(人)	降客数(人)	計(人)	貨物取扱量(t)	郵便取扱量(kg)	全機種着陸回数(回)
平成22年度	3,968	3,790	7,758	3	0	737
平成23年度	4,486	4,172	8,658	5	0	738
平成24年度	4,589	4,463	9,052	8	6,585	854
平成25年度	5,888	5,428	11,316	0	6,583	1,012
平成26年度	6,304	6,145	12,449	6	7,161	1,132
平成27年度	2,568	2,428	4,996	1	3,027	522
平成28年度	880	737	1,617	0	0	382
平成29年度	1,944	1,850	3,794	0	0	657
平成30年度	395	306	701	0	0	194
令和元年度	428	420	848	0	0	213

※国土交通省「空港管理状況調書」

村営住宅一覧

名 称	所 在	竣工年月	世帯数
東第1団地	粟国村字東34	平成 7年6月	2
東第2団地	粟国村字東1916、1917	平成 7年6月	2
東第3団地	粟国村字東219	平成11年3月	2
浜第1団地	粟国村字浜431-1	平成 8年3月	2
浜第2団地	粟国村字130	平成12年5月	4
巣飼団地	粟国村字西255	平成11年4月	4
西第1団地	粟国村字西215	平成13年3月	4

名 称	所 在	竣工年月	世帯数
定住促進住宅 粟国村字東187		平成27年11月	6
西第2団地	粟国村字西113、134	令和7年度完成予定	4
東第4団地	粟国村字東283	令和元年 9月	4
		•	

※粟国村役場経済課

■水道給水量

水道給水量 ^{単位:m³}								
区分	年間取水量	年間浄水量	年間有収水量	無収水量	無効水量			
平成19年度	232,475	89,444	80,502	0	8,942			
平成20年度	276,494	91,524	87,813	0	2,511			
平成21年度	222,195	81,887	79,545	0	2,342			
平成22年度	209,879	90,038	78,048	0	11,990			
平成23年度	210,364	83,222	74,515	0	8,707			
平成24年度	202,851	81,742	70,728	0	11,014			
平成25年度	221,304	85,551	72,645	0	12,906			
平成26年度	259,645	92,874	72,254	0	20,620			
平成27年度	252,610	101,331	80,152	0	21,179			
平成28年度	215,066	91,201	68,708	0	16,671			
平成29年度	220,108	79,821	73,749	0	16,763			
平成30年度	245,488	83,747	67,284	0	17,252			
令和元年度	228,688	84,087	66,495	0	16,803			

※上水道普及率は100% ※水道統計

※粟国村役場経済課

道路

■道路現況《市町村道》

			1級	2級	その他級	合計	
路線数	8	2	93	103	本		
総延長			6,986	2,672	43,991	53,649	m
重用延長			26	0	308	334	m
未供用			0	0	7,040	7,040	m
実延長			6,960	2,672	36,643	46,275	m
改良率			78.3	90.0	54.7	60.3	%
高級舗装率			72.1	90.0	64.5	67.1	%
簡易舗装率			87.2	100.0	68.7	73.3	%
歩道橋			0	0	0	0	箇所
	道路敷		32,781	17,668	166,199	216,648	m²
道路面積	道路部		30,683	14,968	145,466	191,117	mi
	車 道		23,199	12,137	101,544	136,880	m²
	道路設置延 長		0	0	2,349	2,349	m
歩道等設置	道路総延長		0	0	2,349	2,349	m
改良済延長			5,453	2,406	20,028	27,887	m
未改良延長			1,507	266	16,615	18,388	m
規格改良·	規格改良済	車道5.5m以上	37	36	2,918	2,991	m
未改良別	7901119X DC/7A	車道5.5m未満	5,416	2,370	17,110	24,896	m
車道幅員		車道5.5m以上	0	0	27	27	m
区分別	未改良	車道3.5m以上	922	266	2,850	4,038	m
実延長内訳	* W K	車道3.5m未満	585	0	13,738	14,323	m
		うち自動車交通不能区間	0	0	1,012	1,012	m
舗装済			6,071	2,672	25,188	33,931	m
路面別 セメント系			2,502	170	18,120	20,792	m
実延長内訳	アスファルト	2,517	2,236	5,507	10,260	m	
ア人ノアルト糸間易			1,052	266	1,561	2,879	m
未舗装			889	0	11,455	12,344	m
橋梁	箇所数		2	1	3	6	箇所
10木	延長		6	3	9	18	m

※沖縄県土木建築部 道路管理課「平成30年度 道路施設現況調書」 ※平成30年4月1日現在

《県道》粟国港線

総延長	780	m	
重用延長		0	m
実延長		780	m
改良率		100.0%	%
高級舗装率		0.0%	%
簡易舗装率		100.0%	%
	道路敷	7,722	mi
道路面積	道路部	5,850	mi
	車 道	4,680	m²
歩道等設置	道路延長	0	m
改良済延長	(5.5m以上)	780	m
舗装済(アス	780	m	
道路延長	780	m	
4 五 辺 、	箇所数	0	箇所
橋梁	延長	0	m
	-		

38 AGUNI VILLAGE

資料編

■経済センサス資料

事業	所 数	従業	者 数	年間商品販売	売額(百万円)
平成24年	平成28年	平成24年	平成28年	平成24年	平成28年
45	46	176	212	1,393	1,792

医療福祉

1 医療費(国民健康保険)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
世 帯 数(世帯)	142	137	121	123
被保険者数(人)	211	206	188	186
保険税1人あたり調定額(円)	41,406	40,704	40,363	41,758
(県平均)	62,792	65,770	68,212	70,950
保険税現年度分収納率(%)	94.87	97.32	98.88	98.27
(県平均)	93.93	94.06	94.30	94.13
療養諸費1人あたり費用額(円)	200,984	223,649	305,425	412,303
(県平均)	298,165	304,262	317,884	323,238
診療費1人あたり費用額(円)	155,733	168,994	246,202	326,700
(県平均)	239,907	245,417	255,843	261,591
入院費1人あたり費用額(円)	78,151	92,306	171,936	254,053
(県平均)	127,606	131,109	137,448	141,237
入院外1人あたり費用額(円)	66,438	60,656	54,832	92,341
(県平均)	94,951	96,620	100,424	101,974

※沖縄県国民健康保険課「国民健康保険事業状況」(粟国村役場民生課)

■歴代村長

歴代三役·議長

-	是1011X						
代	氏	名	就 任	退任			
初	與那城	菊太郎	明治29年 4月	大正 3年 3月 3日			
2	上 原	次 郎	大正 4年 4月	大正13年 6月			
3		//					
4	浜 川	信吉	大正13年10月	昭和 3年10月			
5	友 利	仁三郎	昭和 3年11月	昭和 6年 3月			
6	宮 里	治昌	昭和 6年 3月	昭和10年 3月			
7	浜 川	栄 久	昭和10年 7月	昭和14年 3月			
8	仲 里	秀 雄	昭和14年 5月	昭和16年 2月			
9	末吉	達幸	昭和17年 2月	昭和21年 7月			
10	仲 里	秀 雄	昭和21年 7月	昭和23年 2月			
11	上江洲	宏	昭和23年 3月	昭和24年 5月			
12	安 里	雄 好	昭和24年 5月	昭和25年 8月			
13	與 儀	俊夫	昭和26年 3月	昭和27年 5月			
14 5 17	仲 里	剛	昭和27年 6月	昭和43年 7月31日			
18 20	新 城	実	昭和43年 8月 1日	昭和55年 7月31日			
21	城 間	善功	昭和55年 8月 1日	昭和59年 7月31日			
22	新 城	実	昭和59年 8月 1日	昭和63年 7月31日			
23	城 間	善功	昭和63年 8月 1日	平成 4年 7月31日			
24 5 26	新 里	政 雄	平成 4年 8月 1日	平成16年 7月31日			
27	上江洲	誠吉	平成16年 8月 1日	平成20年 7月31日			
28 30	新 城	静喜	平成20年 8月 1日	令和 2年 7月31日			
31	髙良	修一	令和 2年 8月 1日	現在に至る			

■歴代収入役

代	氏	名		就 任	退任
初	小 嶺	近	吉	不詳	
2	伊良皆	得	徳	不詳	
3	上 原	朝	栄	大正 5年 8月	大正 8年11月
4	浜 川	栄	久	大正 8年12月	大正13年10月
5	新 里	栄	文	大正13年12月	昭和 2年 5月
6	仲 里	秀	雄	昭和 4年 2月	昭和10年 7月
7		//			
8	長 浜	栄	秀	昭和10年 7月	昭和14年 6月
9	仲 里	善	栄	昭和14年 7月	昭和23年 2月
11		//			
12	末吉	保	雄	昭和23年 3月	昭和24年 5月
13	仲 里		剛	昭和24年 5月	昭和25年 8月
14	宮里		義	昭和26年 5月	
15	宮里		堂	昭和27年11月	
16	末 吉	善	蔵	昭和31年12月	
18		//			
19	上 地	•	雄	昭和46年 2月 1日	昭和50年 1月31日
20		//		昭和50年 2月 1日	昭和54年 1月31日
21		//		昭和54年 2月 1日	昭和55年 8月12日
22	照喜名	廣	光	昭和55年 8月13日	昭和59年 8月12日
23		″ .		昭和59年 8月13日	昭和63年 6月27日
24	上 地	幸	雄	昭和63年 8月 6日	平成 4年 8月 5日
25		//		平成 4年11月 2日	平成 8年11月 1日
26		″_		平成 8年11月 8日	平成12年11月 7日
27	宮 里	丞	=	平成12年12月18日	平成16年12月17日

■歴代助役

代	氏	名	就 任	退任
初	具志堅	代 三	不詳	
2	//	1	不詳	
3	小 嶺	良雄	大正 9年 5月	大正13年 4月
4	崎 山	嗣成	大正13年10月	昭和 7年 4月
5	福本	武 治	昭和 6年 5月	
6	浜 川	栄 久	昭和 7年 3月	
7	仲 里	秀雄	昭和10年 9月	昭和14年 5月
8	末吉	達幸	昭和14年 5月	昭和17年
9	安 里	雄 好	昭和21年 8月	昭和23年 3月
10	//		昭和23年 4月	昭和24年 3月
11	与那嶺	昌俊	昭和24年 4月	昭和25年 7月
12	金城	栄 一	昭和25年 8月	昭和26年 7月
13	上江洲	宏	昭和26年 8月	昭和27年 5月
14	新 里	朝良	昭和27年 8月	昭和31年 9月
15	新城	實	昭和31年10月	
17	_ /			昭和43年 7月31日
18	宮 里	平 堂	昭和43年 8月10日	
20				昭和55年 8月 9日
21	上地	幸雄	昭和55年 8月13日	昭和59年 7月24日
22	伊良皆	晋	昭和59年 8月 9日	昭和63年 8月 8日
23	新里	政 雄	昭和63年12月21日	平成 4年 2月29日
24	城 間	志啓雄	平成 7年 8月 1日	平成11年 3月31日
25	//	′	平成11年 4月 1日	平成15年 3月31日

■歴代副村長

弋		氏	名		就	任	退任
初 ~ 3	伊	佐	文	宏	平成20年	8月15日	令和 2年7月31日
4	與那	『城	弘	明	令和 2年	8月19日	現在に至る

■歴代議長

代		氏	名		就	任	退	任
初	新	垣	信	光	昭和23年	3月	昭和24年	9月
2	宮	里	和	明	昭和24年	10月	昭和25年	9月
3	屋	宜	宗	栄	昭和25年	9月	昭和29年	9月
4	小	嶺	辰	寿	昭和29年	9月	昭和33年	9月
5	新	里	大栄	郎	昭和33年	9月	昭和35年	8月
6	與	那	盛	幸	昭和35年	8月	昭和37年	9月
7	小	嶺	健二	郎	昭和37年	9月	昭和41年	9月
8	玉	寄	栄	_	昭和41年	9月	昭和45年	9月
9		/	"/		昭和45年	9月	昭和49年	9月
10	安	里	武	蒸	昭和49年	9月	昭和53年	9月
11	玉	寄	栄	_	昭和53年	9月	昭和57年	9月
12		/	"/		昭和57年	9月	昭和61年	9月
13	末	吉	信	輝	昭和61年	9月	平成 2年	9月
14	玉	寄	栄	—	平成 2年	9月	平成 4年1	0月
15	山	城	栄	孝	平成 4年	10月	平成 6年	9月
16		/	′/		平成 6年	9月	平成10年	9月
17	上江	エ洲	誠	吉	平成10年	9月	平成14年	9月
18	末	吉	信	輝	平成14年	9月	平成18年	9月
19	玉	寄	文	雄	平成18年	9月	平成22年	9月
20	宮	里	昌	典	平成22年	9月	平成26年	9月
21	伊耳	包皆	信	英	平成26年	9月	平成30年	9月
22	山	城	雅	雄	平成30年	9月	現在に至る	

40 AGUNI VILLAGE

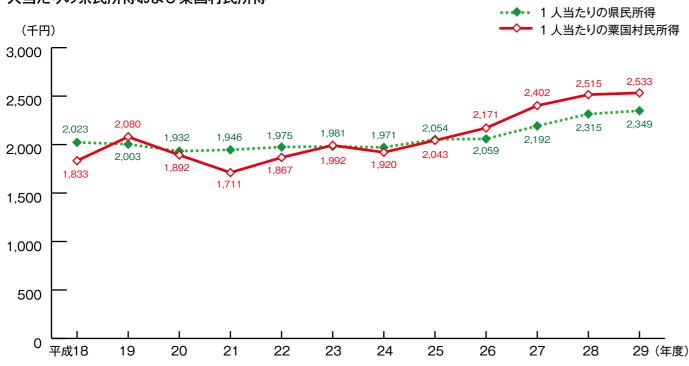
出生・死亡・転入・転出

年 度	出生	死 亡	転 入	転 出
平成11年	8	15	101	110
平成12年	12	14	80	65
平成13年	10	19	92	67
平成14年	8	17	79	64
平成15年	13	17	88	73
平成16年	6	15	71	73
平成17年	5	14	55	56
平成18年	8	19	45	88
平成19年	2	13	67	72
平成20年	3	16	50	51
平成21年	10	14	45	38
平成22年	9	17	38	61
平成23年	4	16	55	80
平成24年	4	11	72	63
平成25年	6	23	49	65
平成26年	7	10	64	40
平成27年	9	12	40	62
平成28年	4	9	47	56
平成29年	8	14	52	61
平成30年	6	16	60	62
令和元年	4	11	66	68
令和 2年	1	11	50	50

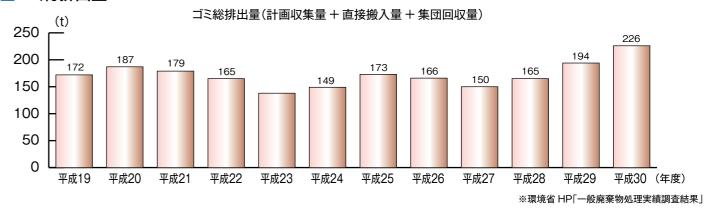
※粟国村役場総務課

※沖縄県企画部統計課「沖縄県市町村民所得」

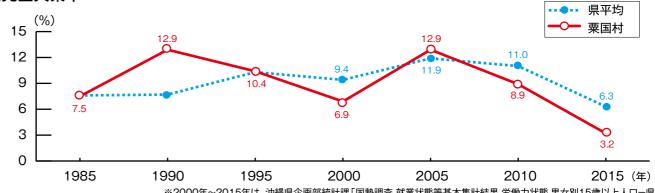
1 人当たりの県民所得および粟国村民所得



■ゴミ総排出量



■完全失業率



※2000年~2015年は、沖縄県企画部統計課「国勢調査 就業状態等基本集計結果 労働力状態,男女別15歳以上人ロー県,市町村」 ※1985年~1995年の粟国村の完全失業率は、GraphToChart「グラフで見る島尻郡粟国村の完全失業率(国勢調査)」

■村のあゆみ

旧藩時代

1611年(慶長16年)	・番所が浜に設置され、初地頭代が任命される。
1725年(享保10年)	・在番が置かれる。
1734年(享保19年)	・夫地頭が置かれる。

廃藩置県後~大正

1879年(明治12年)	・廃藩と同時に八重村は廃止し、新たに西村、東 村が設置された。
1882年(明治15年)	・久米島代官管轄から那覇所轄となる。
1898年(明治31年)	・粟国尋常小学校児童生徒35名で授業開始。
1899年(明治32年)	・初代島長に與那城菊太郎が任命される。
1903年(明治36年)	・西村、東村、浜村が廃止、区制施行され、字西、 字東、字浜と改称される。
1908年(明治41年)	・市町村制が布かれ粟国村となる。
1909年(明治42年)	・初代村長に初代島長の與那城菊太郎が再任さ れる。
	・粟国郵便取扱所が設置される。
1920年(大正9年)	・一般町村制が施行され、村長は初めて議会で選出される。
	・字浜に置かれていた番所は、字東に移され、現 在の役場になっている。

昭和

1945年(昭和20年)	・3月23日最初の空襲。6月9日米軍上陸。
1963年(昭和38年)	・農産漁村電気導入促進法により発電能力 50kWで事業開始。
1978年(昭和53年)	·粟国島灯台業務開始。粟国空港開港。
1979年(昭和54年)	・電話ダイヤル化
1983年(昭和58年)	·防災行政無線導入。

平成	
2000年(平成12年)	·電話回線ISDN化
2001年(平成13年)	・海水淡水化施設完成
2004年(平成16年)	・焼却施設「美ら島あぐにクリーンセンター」可動
2006年(平成18年)	·電話回線ADSL
2011年(平成23年)	·新製糖工場完成
2016年(平成28年)	·粟国幼小中学校新校舎完成
2018年(平成30年)	·水道用水供給事業開始
	・電話回線 光ブロードバンド
	・粟国空港ターミナル新設
⇔ ∓⊓	

令和

2020年(令和2年) ・ニューフェリーあぐに就航

42 AGUNI VILLAGE AGUNI VILLAGE 43



令和2年度 粟国村村勢要覧

令和3年3月発行

発 行/粟国村編 集/粟国村役場総務課 〒901-3792 沖縄県島尻郡粟国村字東367番地 TEL:098-988-2016 FAX:098-988-2206 URL: www.vill.aguni.okinawa.jp/

印 刷/丸正印刷株式会社







AGUNI VILLAGE